

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	秋田支部	(2) 記載者氏名:	佐々木民秀	会員番号:	5748	事務局整理記入欄	秋田 - 14
分水嶺区分	E057発荷峠～E059赤岩山～E061 P685見返峠	(3) 山行日:	2004年	8月	22日	(4) 天候	快晴

(5) 参加者氏名および会員番号

・佐々木民秀	5748	堀井弘	11785	大橋忠雄	13127		
福田光子	7585	佐藤博	11993	石川祐子	13275		
柳田勇悦	10651	高橋忠雄	12003	伊藤秀雄	13709		
鈴木裕子	11280	川口廣志	13120				
計			11名	計 名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	発荷峠(甲岳台入口)～甲岳台～赤岩山～P735～P685見返峠(国道・秋田青森県境)												
アプローチ:	発荷峠(甲岳台入口)まで自家用車												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	発荷峠(甲岳台入口)	十和田湖東部	140	51	55.1	40	24	23.0	631		8:10		
分水嶺到達点E057	発荷峠(甲岳台入口)	十和田湖東部	140	51	55.1	40	24	23.0	631	8:10	8:10	A-1	1, 6
E058	甲岳台	十和田湖東部	140	52	54.6	40	24	27.7	677	8:30	8:50	A-1	1
	不老清水	十和田湖東部	140	53	31.0	40	24	52.9	785	9:10	9:15	A-2	9
E059	赤岩山	十和田湖東部	140	53	51.0	40	24	52.9	785	9:50	10:00	A-2	7
E060	P735	十和田湖東部	140	55	39.3	40	25	15.7	716	11:25	11:35	A-2	2, 3, 7
	P735直下	十和田湖東部								11:45	13:35	A-2	
分水嶺離別点	P698手前直下	十和田湖東部										A-1	4, 5
歩行終了点E061	P685(国道)	十和田湖東部								14:20	14:40	A-1	5
総歩行時間(休憩時間を除く):											3時間55分		

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
E059赤石山		3		正常	方位右に30度のずれ。
E060 P735		3	測定不可	最悪	山頂の南面に地崩れの跡あり。三角点本体が45度傾いている。地表20cm露出(三角点自体に損傷なし)

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

1 甲岳台に展望台あり。(建物マーク記入必要)林道巾は甲岳台まで複線(=)で記入必要
2 P735の南に延びる歩道は廃道(地形図から抹消してよい。)
3 P735の北に延びる歩道は尾根の西斜面にある。(地形図変更必要)
4 P672のすぐ東に林道の終点あり。ここからP689南面の近くまで南に延びる林道あり。単線(-)に変更必要。またP698南面に近くまで南から延びる林道がある。(地形図に記入必要。)
5 P698～P685見返峠(国道)間に歩道はない。今回は春季に踏査したので、国道を峠まで歩いた。
6 発荷峠東側に「十和田国定スキー場」とあるが以前からスキー場はない。(地形図から抹消必要)

(9) 水および植生に関連した特記事項

7 赤岩山以東に3箇所笹枯れあり。
8 発荷峠～自動車道終点まではブナ、ダケカンバ、カツラ多し、その先P735までは主としてブナ林、その先の林道終点まで巨木帯(ホオノキ、ブナ、ミズナラ、トチ)

(10) その他の特記事項

9 不老清水の石碑に「昭和4年11月 村沢〇〇」の刻あり。〇〇は判読出来ない。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: